

年齢：10歳代（6） 20歳代（6） 30歳代（7） 40歳代（23）
50歳代（24） 60歳代（34） 70歳代以上（22） 無回答（4）
職業：医師（7） 歯科医師（0） 薬剤師（4） 看護師（2） その他の医療従事者（7）
医学生（1） 看護学生（1） 高校生（3） 主婦（27） 教師（16）
その他（52）（仏画師、会社員、NPO法人職員、自営、ホームヘルパー、公務員、市議
退職教員、保育士、元看護師、郵政OB、無職）

1. 本日の講演について

- ① 理解が深まり非常によかった（115） ② まあまあよかった（2）
③ 期待したほどではなかった（0） 無回答（9）

2. 本日の講演会は何でお知りになりましたか？（複数回答あり）

- ① 案内チラシ・ポスター（55） ② 知人の紹介（35） ③ 新聞（13） ④ テレビ・ラジオ（2）
⑤ その他（25）（ペシャワール会、雑誌、組合広報、九条の便り、教育かごしま、
平和センター、県医師会報）

3. 本日の講演会について、特に印象に残った事や感想がありましたらお書きください

- ・ 大学では造園を学んでおり、今回の震災の影響もあって、自然の力から生活をどのように守るかということを中心に学んでいます。今回の講演で、日本の伝統的な技術を見直すことが大切だと改めて感じました。また、ただ造園学を学ぶだけでなく、土地の人々のことや土地とのかかわり方、土地を自分で知り、感じるということが重要だと知ることができよかったです。（10代）
- ・ 技術がいくら発展しても、自然に打ち勝つことは出来ない。けれど、自然と調和していくことは可能だと、そのとおりだと感じた。金で買える世の中でなく、人と人とのつながりが大切で、これからの日本が、昔のようなより良い社会へと変わっていければよいと、それをしていくのも、今を生きる私たちの役目だと思った。（10代）
- ・ 「自由」という意味の違いに驚きました。またTVのニュースなどを本気にしないように気をつけていたにも関わらず、自分の中に偏見をもっていたということや、「（現地の人ができないから）私達が何かしてあげなきゃ」という、上から目線に気がつき、ショックを受けました。これから多くのことがあると思うけれど、この「ショック」を生かしていけたらいいと思います。（20代）
- ・ NHKの番組を見て先生の活動を知り、それ以来、新聞やインターネットなどで先生の活動を影から見守って参りました。先日、用水路の完成を知り胸があつくなりました。現地の方々がうれしそうに稲刈りをする姿を見て、私までうれしかったです。アフガニスタンの緑がより豊かになる日を楽しみにしています。（20代）
- ・ 用水路によって緑が戻ったアフガニスタンの写真を見て、水の有難みを改めて感じました。周りにあふれていると分からないものですね。これからも毎日水を大切に使います（20歳代）
- ・ 中村先生の感じてきたことを直接うかがえたので、大変伝わるものが大きかったです。（20代）
- ・ 報道でしか知らなかったアフガンのこと。水の力。自然はコントロールできないこと。現地の人には現地の世界があること。私ももう一度いろいろ考えて行動したいです。（30代）
- ・ 応援しています（30代）
- ・ 良い事は誰がしてもよいことだという言葉（30代）
- ・ 「医者が何人いても、水（用水路）がないとダメ！」当たり前のことではあるが、理解しがたいことであると思う。（30代）
- ・ タリバン政権下は平和であったという事を初めて知りました。（30代）
- ・ 実際の現地の状況と、メディアで伝えられる情報には違いがあること。原発問題もそ

うだが、メディアによって情報操作されているのでは…真実を見る目を持たなければ
ならないと思いました。そして、信じ続ける事の大切さを教えていただきました。(30
代)

- ・ 中村先生は「小さな巨人」という印象でした。砂漠に緑が広がった写真を見ると、感動というより涙が出ました。アメリカは外から入ってきて荒らして出ていく。その土地の文化や人々を大事にして復興していく、という言葉の重さを感じました。(40代)
- ・ 人とのつながり、強い意志が大事だと思った。すごい方です。(40代)
- ・ 「タリバン=テロリスト」というイメージが私の中で強かったので、モスク付属の学校の「学生」というのは知りませんでしたし、イメージが変わりました。いかに一面的、一方的な報道やプロパガンダに染まった考え方をしていたのか、ということです。そういうことにならないよう、多面的なものの見方ができるように、とは思っていたのですが、現地をいちばんご存知の方に伺うことでそれがわかります。「金(効率)こそ1番の価値」というたった1つの価値観がはびこっている昨今の日本だからこそ、こういうお話を伺うことでいろいろな考え方、ものの見方ができるような人が、もっと増えるといいなと思っています。(40代)
- ・ いろいろ考えさせられました。アフガニスタンに関して大変な誤解をしていました。中村先生のとつとつとした博多弁にも親しみを感じました。賢者というのは複雑な思考をする人と今まで思っていました。(生意気なことを言ってごめんなさい)先生の素朴なお人柄に、そしてその行動力に大変な勇気を頂きました。(40代)
- ・ 現地の人達と一緒に働いた人の視点での話がとても興味深かったです。(40代)
- ・ 少しは学習して知っているつもりになっていましたが、マスコミの情報によってすり込まれたアフガニスタンへのイメージが、自分の中にも根強くくすぶっていたことを感じました。そこに暮らす(生きている)人々の生活を知り、「そこに生きている人がいる」ということを忘れてはならないと思いました。中村先生の活動、本当にすばらしいです。武力によらない支援の和、広げたいです。「戦によっては復興はできない」その通りだと思いました。日本は原発の海外輸出ではなく、中村先生のように日本のすばらしい治水技術をもっと輸出すべきですね。(40代)
- ・ 本やTVなどで中村さんがされていることは知っていたのですが、直接お話を聞いてよかったです。どうもありがとうございました。(40代)
- ・ 病気や生活を助けるのが、やはり水なんだと、用水路の技術が、江戸時代の技術が役に立つのを改めて知ることができました。(40代)
- ・ 枯れ果てた台地に水が入り、グレーからグリーンに変わり、黄金色の稲が実ったところ。中村Dr.が、外国人が何をしに来ようが、自分たちには関係ない…その土地の文化や歴史を知ることが大事とおっしゃった事。日本の治水工事もまた、原点に帰る必要があるのではないかと思います。(40代)
- ・ 100年後、日本という国があったとして、その時代を生きる人が、今をどう見るかという視点。この分野はまさに教育の分野と直結しており、身の引き締まる思いがした。(40代)
- ・ 中村先生の情熱に敬服する。(40代)
- ・ 子どもたちが生き生きと武装しているという話が印象的。個人的には教育と医療が人間的生活の根本と考えるが、そのいずれにも治水工事というものがつながっていくということがよく分かりました。(40代)
- ・ 深く深く感動して、何から書いてよいか…私も中村先生に続けたいと、何でも良いので自分に出来ることをしていきたいと思いました。(40代)
- ・ 今日の話の本と映像がほしいと思いました。メモをとるより聞き入ってしまったので。(40代)
- ・ 信念、その大切さが身にしみました。ありがとうございました。(40代)
- ・ 中村哲先生のヒューマニズムに強く共感しました。ありがとうございました。(40代)
- ・ アフガンの子どもの姿が、自分の子どもの姿に重なりました。今この時を、我が子たちが振り返って、幸せに思い出してくれるように、私達がかんばろうと思いました。自然とともに、戦わず、ここでくらししていきたいと思っています。(40代)

- ・一度は聞きたいと思っていたので、とても楽しみにしてきました。中村哲さんのことば一つ一つに感動しました。(40代)
- ・水は大事ですねえ。何と楽しい福祉でしょう。健康な老人福祉の楽しい遊び、But、国内の自然災害に、希望を持つ野田内閣の3次予算に、明朗な日本人の笑顔はとっても素敵ですよ。本日の講演会なければ、本日の未来をよくする政治はないので、よいです。90歳以上が一市町村に10人以上いる世の中、明るい戦後、どんな事故、災害に見舞われようと、力強く生き抜く国民に、今後の____医療ではないでしょうか。「笑顔あって、医者いらず」エコ生活に、楽・楽・楽。ひとりひとりの消費電力が変われば、おのずから答えが出る。(40代)
- ・テレビのニュースでは、伝わらない、かくされている部分がきっとあるだろうと思っていたので、そこが知れてよかった。「文化」を大切に生きるということがどういうことか、知ることが出来たと思う。中村哲さんの「生」の声でお話かけたことが何より今日は感動でした。(40代)
- ・中村先生の現地に事業としてとりくむ意志力が、武力で平和をと言うアメリカ給油活動などでは遠く及ばない。民同志の絆、助け合いが、本当の平和を実現する現実が今1つ展開したことに、あきらめない、共助の力は奇跡を生むと強い思い、勇気をいただきました。(50代)
- ・大変有意義であったのは、日本の治水技術がいかされていたこと(50代)
- ・大きなすごい事業をされた方なのに、とても普通であられた事におどろきを覚えました。(50代)
- ・その地に立って、何が必要かそして、手をさしのべるというのではなく、“自立の道”を支援する話し、28年のとりくみに過去の日本の知恵を生かし、自然と折り合いをつけて生きていく！！このことは、東京から見た福島への行為、地域の方々への関り方を示唆されるものと受け取りました。地方の方の望むことを応援することが大切だと改めて思いました。(50代)
- ・中村先生の不屈の精神とユーモア精神がすばらしいと感じました。(50代)
- ・お久しぶりにお声をきけて良かったです。ユーモアのあるお話、元気をもらいました。ありがとうございました。(50代)
- ・あまり知らないアフガニスタンという国の事、ほんとうに勉強になりました。テレビでしか聞いたことがなかったので、現地を目のあたりにしている御本人からのお話はほんとうに良かった。(50代)
- ・自然体の姿勢(50代)
- ・どうぞ健康に留意されて、どうぞどうぞお元気でありますようお祈りいたします。(50代)
- ・全長25km以上の用水路を完成させられたことに感動しました。こんな大仕事をまっとうされる姿に頭が下がります。昨年でしたか、用水路が完成したニュースを見て、日本にいながら喜んだことを思い出しました。アフガンのために、何年も何年も頑張っていることをずっと応援しています。がんばってください。体に気をつけてください。(50代)
- ・素晴らしい日本人に会えてとてもうれしいです。(50代)
- ・先生の活動とアフガン政府の関りについて知りたいと思っていたので、少し理解できた。政府がきちんと機能していないのは残念。(50代)
- ・3回目です。すばらしかったです。できるだけのがしたいです。(50代)
- ・ちょっと変な質問が最後にあったけど、中村哲さんのお答えはさすがでした。九条の会にふさわしいステキな講演会でした。(50代)
- ・日本人としてひき下がれなかったという言葉が、心に強く温かく残った。自分は？と思うと恥ずかしい気がした。聞いて良かったです、本当に。(50代)
- ・先生のユーモアに満ちた話を聞き、心が豊になりました。ありがとうございました。出会いと創造、続けることの大切さ、人との関係の大切さ、などについて考えさせられました。自然とともに生きること…ありがとうございました。(50代)
- ・金はなくても生きられるが、雪がなければ生きられない。水の恵みと水のおそろしさ

(洪水・津波)の両方のことを感じました。けし畑だと知らずに、花畑の風景を見て「きれいだなあ」と見入っていました。正しい情報がないと誤解してしまいますね。1976年3月にアフガニスタンを旅行しました。あんずの花の咲く美しい村がアフガニスタンの印象です。(50代)

- ・ 水路を作る意義、現地生活を重視した人生観、大変勉強になりました。良いことをするのに、個人も政府も無い、深いと思いました。(50代)
- ・ 米、麦、とうもろこし、大豊作を願う。ただただ涙(一百姓)(50代)
- ・ これからもがんばって下さい。すばらしい講演内容でした。(50代)
- ・ 8年かけて完成した用水路。その周りの緑を見て、東日本の被災地の復興を確信しました。今日はお話がきけて本当によかったです。ありがとうございました。(50代)
- ・ 長年に渡りアフガンの為に支援をされてきた中村先生に頭が下がります。(50代)
- ・ 印象的な言葉①「美しい誤解」日露戦争でロシアをしりぞけたこと、広島・長崎の原爆被害を克服。②はぶりの良い国は、侵略国になるか、日本は弱い者にただけに強い国にへつらう国。③医療より命—生活—そして水が無ければ生きていけない、1600箇所の井戸④「天の利、地の利、人の和」砂漠が緑地になることの感動、現地の人々の現実⑤戦によっては平和にはならない。自然と向き合って折り合うこと⑥日本は中身より包装用紙で勝負している。ふるさと、国土を大切に。(60代)
- ・ 一本の用水路の大事さを良く知ることができました。(60代)
- ・ 偉大なことをされたのに、何のてらいもなくユーモアたっぷりに語られる姿に感動を受けました。(60代)
- ・ 先生のお人柄(60代)
- ・ アフガンの人々が、日本人に対して好意をもっているのは根拠があったのですね。日露戦争のとらえかたも違ってくるのですね。お医者さんでありながら、土木技師としての先生に驚きです。いつの時代、どこの国でも食糧は下には来ないのですかね。「地域の人の文化を尊重することが大事」のことばが印象に残りました。日本古来の河川技術まで取り入れられていることを知りました。砂漠の中の緑はすばらしいし、生き生きと見えました。先生の信念が理解できました。マスコミで知っている以上にすばらしい講演会でした。(60代)
- ・ 貧しい人々の生活を支え、命を助けていてすばらしい仕事です。いつの時代でも、弱い人、貧しい人々がすくわれますよう祈ってます。そんな社会がしあわせだと思います。(60代)
- ・ マスコミが報道しないアフガンの真実を、中村先生から教えていただいたこと。25kmの用水路が完成する過程から学べたこと。(日本の取水技術や人々の一人一人が力を合わせることの大切さ、そしてそれを導いていかれた中村先生の人徳や指導力など)稲が収穫できた時の1コマは、とても感動させられました。(60代)
- ・ 本人からの話して、実情が印象深く解りました。今後も興味を持ち続けていきたい。(60代)
- ・ 天の利、地の利、人の和。その土地の状況や文化を大切にする。子どもの未来を保障するのは大人の責任。まさにそう感じます。現場主義。(60代)
- ・ 生命を守るために何をすべきかを、長い年月の中で見出され、それを実行に移す先生のお姿に改めて感銘しました。
- ・ 平和の構築は何によってなされるか。(60代)
- ・ 思っていたとおりのすてきな方でした。中村先生は、ユーモアあり、謙虚な方で、アフガンのこと少し(よく)わかりました。これだけの仕事をしておられて、ご家族はおられるのかと思っていましたが、支えられるこわい奥様(?)もあって、ご家族もあってうれしく思いました。(60代)
- ・ 講演の初めの中村先生の言葉が胸に深く入ってきました。「人間というものは愛するにたりるもの、信じるに足りるもの」(60代)
- ・ 中村哲さんの医療に始まった治水への援助、現地の方の本当に助けになるにはという思いに深く感動しました。そこに住んでいる人達に必要なものは「食料と水」そのために、その人達の気持ち、文化を大切にするということ、肝に銘じて、私にも

- できることは何か考え行動していきたいです。(60代)
- ・ 未来に向けてモスクを作り、学校を建設している姿に感銘を受けました。(60代)
 - ・ 現地の自然条件を重視し、地域の文化を尊重する大切さ。医療支援は、人々のくらしの支援だということ。日本の米国と一体となった“支援”は役に立っていないこと。(60代)
 - ・ 中村哲氏の人柄で、ペシャワール会が成立しているのだとつくづく思った。ユーモアのセンスのある人。(60代)
 - ・ ものの考え方、中村先生の柔軟さ（本来は人として当たり前のことかも知りませんが）をあらためて思いました。人として、常にこうあることを私は心がけているだろうか？(60代)
 - ・ 10年前に生き生きとしていた子どもが、今や生き生きとして銃を取り、生き生きとして米軍を狙撃する、それでいいのか。そうした世の中にしたのは大人たちだ。(60代)
 - ・ 水路が今どうなっているかと思っていましたが、映像を見、お話を聞き、うれしくなりました。でも、アメリカとの関係はやはり心配です。アメリカやEUにとって都合のいいアフガンでなく、アフガンの人々が本当に安心してくらせる社会であってほしいと心から願います。(60代)
 - ・ “お金がなくても水があれば生きのびることができる”国際貢献は一方的な考え方でやるものではなく、住民が何を求め、必要としているかを知り、支援していくことが大事であることを理解できました。(60代)
 - ・ 私たちはあまりにも本当の姿を知らないことがわかった。(60代)
 - ・ 何十年もかかって、治水工事をやりとげたことに頭が下がります。自分に正直に生きている姿にかんぷくします。(60代)
 - ・ 話は単に、話が上手いとか楽しいとかいうのでなく、その話し手の方の生き方・考え方が大切なのだと思いました。
 - ・ 何もかも感動でした。今後もアフガンの為に国際貢献されて頂きたい。(70代)
 - ・ いのちへの深い思いを感じた。(70代)
 - ・ 自分の信念をやりとげる気持ちに感動。尚、東北大震災や今回の台風12号による災害など、みなさんの苦勞が早く取り除かれるよう努力をして欲しいです。(70代)
 - ・ 戦いによっては復興は成り立たない。来た人は去っていく。去れない人は困る。まず、生き延びるための水と食料が必要。(70代)
 - ・ 前にパキスタンに行った事があり、アフガニスタンの風景を見て嬉しく思い出しました。(70代)
 - ・ 病気は、水・食糧によって救われるということの重要性について気づかされた。日本の伝統技術のすばらしさに改めて気づかされた。(70代)
 - ・ 日本という国の風土、文化のすばらしさを、中村先生の話で再確認させていただきました。(70代)
 - ・ 日本は地震、水害で「水」の被害に大変だが、アフガンでは正に100の診療所より「1つの水路」。水が人々の生命、生活にいかにか大事か・・・中村先生は畑ちがいの土木事業で、それを長い目で見て成し遂げる。想像を絶する忍耐と努力の結果と私はただ敬服するのみ・・・(70代)
 - ・ 枕崎での写真展で感じたのですが、中村医師でなくてもいい、現地のサポートをしている若者に会って話を聞きたいと思えます。(70代)
 - ・ 合唱：ことばがよく判って感心しました。現地の人の生きるための仕事、誰がやってもよい。(70代)
 - ・ 指摘されたように、マスコミの報道を8割方信用してしまう自分たちだが、現地の状況を知る中村先生の講演で私が感じたことを、身近な者に伝えられたらと思う。次の機会があれば、一人でも多くの者に聞いてもらえるように誘ってこようと感じた。
 - ・ すべてのお話が印象に残り、感慨深いものでした。先生のご健康と素晴らしい活動をお祈り申し上げます。御家族、特に奥さまのご理解とご協力が思われます。
 - ・ 自分が地域で日本人としてどう生きるかに大切な指針と参考を頂いた。

4. “九条医療者の会かごしま”について

- ・ 将来、医療従事者になりたい自分としては、今日の講演会は素晴らしいものでした。このような企画は、ぜひこれからも続けていってほしいと思う。(10代)
- ・ このような良い意味で「どちらのサイドもとらない」講演会を聞く機会が減っているように思えます。素晴らしい講演会を開いていただき、ありがとうございました。(20代)
- ・ 年に一度、中村先生を鹿児島にお招きしていただきたいです。今日は感謝の気持ちでいっぱいです。(40代)
- ・ すばらしい！この組織をはじめて知りました。お互いがんばりましょう！(40代)
- ・ 元気をもらいました。(40代)
- ・ 世界で唯一の戦争を放棄した憲法、それがあから世界に堂々と非核を訴えられ、平和の世界展開を問う資格を日本に与えられていると確信します。(50代)
- ・ 日本人として忘れてはならない心を訴え続けてください。(50代)
- ・ 9.11 10年の日に真の平和貢献を続けておられる中村哲医師の講演を企画下さってありがとうございました。平和を創っていくうえでの貴重なご報告を生かしていけたらもっといい日本になりますね。九条医療者の会の方々と私も九条を守り活かせるよう、がんばらせていただきたいと思います。(50代)
- ・ 今後ともがんばって活動を続けて欲しいです。(50代)
- ・ 宣伝：MBC、NHKの地域の広報も利用されては。県・市の病院、関係組織への協力要請、講演会などの宣伝は。教育関係への協力も？(60代)
- ・ これからも本日のような講演会等、企画してください。(60代)
- ・ 原子力利用（原発を含め）についての講演会をぜひ(60代)
- ・ 医療者の中にも、こういう会があるというのを心強く思います。(60代)
- ・ 活動をされていることに敬意を表します。(60代)
- ・ いろいろある九条の存在。どこかに入りたいような、どこに入っていか分からないような、入って何ができるか…活動を見ながら協力できることはやっていきたいと思えます。(60代)
- ・ 何も知らないのですが意見はありませんが…駐車場の確保されている場所は希望です。(60代)
- ・ かごしま九条の会は知っていましたが、医療従事者の会は知りませんでした。関心を持ちました。(70代)
- ・ 5月3日の南日紙、九条公告をもっと皆さんに知らせましょう。(70代)
- ・ すばらしい企画でした。又の機会をよろしくお願いします。(70代)
- ・ 鹿児島県に移住して3年目。九条の会があるなんて！うれしい。(70代)
- ・ 九条医療者の会みやざき（存在するのか？）もがんばりたいと思います。
- ・ ありがとうございます。迷走を繰り返す今の政治を生んだのも、私たち国民です。こんな時、平和を維持するために捨て身でがんばっている中村哲さんのお話を直に聞く機会を、この地で聴講させていただくことにまず感謝です(73才女)